vol.77



デザイン・スクイグル
【The Design Squiggle】

プロジェクトが試行錯誤を重ねながら、混沌から秩序へと進む過程を一本の線で表現した図

"The Design Squiggle" by Damien Newman (thedesignsquiggle.com) / CC BY-ND 3.0

郵 便 は が き

はじめは迷いながら

「デザイン・スクイグル」は、デザイナーのダミアン・ニューマンが考案した、プロジェクトが「混沌から秩序へ」と進む過程を、左から右へと続く一本の線で表現した図です。

- **左側｜混沌：**課題が不明確で、情報やアイデアが錯綜し、試行錯誤を繰り返す段階です。
- **中央｜整理：**本質的な課題やコンセプトが見え始め、複雑に絡み合った線が徐々に整理されていきます。
- **右側｜秩序：**解決策が明確になり、複雑だった線がシンプルな一本の直線へと収束していきます。

この図が伝えているのは、「初期段階の混乱や迷いは失敗ではなく、必要なプロセスの一部である」ということです。ビジネスでは効率やスピードが重視されますが、良いモノを生み出すためには、試行錯誤を重ねる過程が欠かせません。

私たちは、この図の右側にある直線部分、つまり「最終成果物」だけを見て、それをデザインだと捉えがちです。しかし、その前段階にある「混沌（ぐにゃぐにゃした線）」があって初めて、直線へとつながるのです。

初めての自社製品開発や新規事業など、未知の領域に挑戦するときこそ、この図をプロジェクトメンバーで共有してみてはいかがでしょうか。プロジェクトでは、意見が衝突し、方向性を見失いそうになることもあります。そんなとき、この図を手がかりに「今はまだ線が絡み合っている段階だ」「少しずつ方向が見えてきた」と現在地を共有できれば、チームの焦りや不安を和らげることができます。

答えがすぐに見つからない時間にも意味がある。そのことをメンバー全員が理解し、試行錯誤を前向きに受け止めることが、プロジェクトを停滞させず、前進させる力になるのではないでしょうか。

※このカードは、新製品や新企画の着想を得ることを支援する目的で作成・配布しているものです

DESIGN YAMANASHI「デザイン・スクイグル」

発行日：2026年 11月　編集・発行：山梨県産業技術センター　甲府市大津町2094